

「連続ドラマW フィクサー Season1」が2023年日本民間放送連盟賞 番組部門（テレビドラマ番組）において優秀を受賞！



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 田中 晃）が製作し、放送・配信した「連続ドラマW フィクサー Season1」が、2023年日本民間放送連盟賞 番組部門（テレビドラマ番組）において優秀を受賞しました。ベテラン俳優陣の演技を堪能できる大人のドラマという点や、緻密で無駄のない脚本のうまさが高く評価されました。

日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟（民放連）が1953年に創設した賞です。

■「連続ドラマW フィクサー Season1」（全5話）概要

初回放送

2023年4月23日（日）午後10：00[WOWOWプライム]

WOWOWオンデマンド

配信中 [第1話無料配信 ※2023年11月30日（木）まで]

番組内容

<ストーリー>

ある夜、総理大臣を乗せた車が事故に遭い、死亡した運転手には飲酒運転の疑惑が……。さらに、新薬の認可をめぐる密約スキャンダルとの関係性も疑われ始める。そんな中、事故の対応に追われる総理の秘書官・中埜弘輝（藤木直人）に近づくひとりの男がいた――。「フィクサー」とも呼ばれるその男の名は設楽拳一（唐沢寿明）。拳一は過去にも不祥事をもみ消し、今回の事故直前にも総理と電話で話をしていただけだった。果たしてこれは偶然の事故なのか？欲望がうごめく政界で仕組まれた事件なのか？副総理の須崎一郎（小林薫）は昵懇の仲にある闇のフィクサー、本郷吾一（西田敏行）と密談を重ね……。そして、取材に没頭する新聞記者の渡辺達哉（町田啓太）のもとに何者かからタレコミ情報が入る。その後、総理は辞任に追いこまれ、総裁選が幕を開ける――。拳一はキングメーカーとして政治家たちを手玉に取り、権力を掌中にしていく。

<スタッフ・キャスト>

脚本：井上由美子

企画・プロデュース：青木泰憲

監督：西浦正記

音楽：得田真裕

プロデューサー：村松亜樹 高田良平 黒沢淳

制作協力：リオネス

製作著作：WOWOW

出演：唐沢寿明

藤木直人 町田啓太 小泉孝太郎 要潤 吉川愛 斉藤由貴 駿河太郎

／西田敏行（特別出演）／永島敏行 富田靖子 陣内孝則 内田有紀 小林薫

<インタビュー記事>

WOWOW公式オウンドメディアFEATURES！にて、「連続ドラマW フィクサー」を手掛けた脚本家・井上由美子さんと、青木プロデューサーのインタビュー記事を紹介しています。ぜひ併せてご覧ください。

脚本家 井上由美子 × WOWOWコンテンツ制作局 クリエイティブオフィサー 青木泰憲

肌感覚で知る視聴者の興味、関心をただ、ひたすらに突き詰めていきたい

https://corporate.wowow.co.jp/features/detail/2307_fixer.html

※2023年7月3日（月）掲載

報道関連・IR関連のお問い合わせ

経営管理局 広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp